

衆議院議員

兵庫県第六選挙区
(伊丹市・宝塚市・川西市)

大串まさき

<http://www.m-ogushi.com/>

国政報告



- ✓ 国会で質疑に立ちました
- ✓ 大きく変わる我が国の防衛環境
- ✓ 自民党内での政策活動

ガブリック VOL. 30

大串まさき プロフィール

自由民主党 国会対策副委員長
元 経済産業大臣政務官

- ▶ 昭和 41 年生まれ。報徳学園高卒 (74 回)。東北大学工学部卒 (資源工学科)、同大学院修了 (工学修士)。博士 (知識科学)。
- ▶ IHI (工業炉設計部)、松下政経塾、大学准教授などを経て現職。現在 4 期目。
- ▶ 厚生労働・文部科学・経済産業など幅広い政策分野で活躍中。
- ▶ 専門：医療・福祉、教育政策など
- ▶ 家族：妻と二人暮らし (猫一匹)
- ▶ 趣味：釣り、絵画、多肉植物
- ▶ スポーツ：高校まで剣道一筋
- ▶ 好きな食べ物：カレー
- ▶ 座右の銘：威ありて猛からず

お問い合わせ先

自民党への入党のご希望、国政報告会への参加希望など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



自由民主党 兵庫県第六選挙区支部
ニューズレター

第 30 号 (令和 4 年 4 月 1 日号)

頒布責任者：浅井勝弘
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12

印刷者：株式会社プリントパック
京都府向日市森本町野田 3-1

討議資料

国会で質疑に立ちました

今国会では政策立案や国会対策副委員長の仕事もしながら、質疑にも立たせていただいております。「テレビで見たよ」とお声を掛けていただけることも多くありますが、改めて今国会での質疑の様子をお伝えします。

▶ 予算委員会

衆議院の予算委員会、新型コロナウイルス感染症対策の集中審議で質疑に立ちました。コロナ対策としての困窮者支援の基礎となる統計指標の在り方や、ウィズコロナの時代の規制改革について、岸田政権での今後の取組を伺いました。

● 統計指標

困窮者支援の前提に「誰が困窮者なのか？」を明らかにする必要があります。近年「**根拠に基づく政策立案 (EBPM)**」が一般的になる中、政策効果を高め、国民の納得を得るためにも、分かりやすく実態を反映した指標の開発や調査方法について、不断の改革を進めていくことを提言しました。統計は**政策ツール**として、もっと政策形成の中心に位置づけるべきと考えますし、その精度向上へのさらなる努力が必要です。私も自民党の厚生労働部会の下で厚生労働指標の改革議論を深めています。

● 規制改革

ウィズコロナの時代に「経済成長を後押しする規制改革」も取り組むべき課題です。特に、コロナ禍でリモートワークも一般化。そんな中でも有資格者が専任で常駐しなければならないという規制が多数存在しています。この「**常駐専任**」規制の撤廃について前向きな答弁を得ました。土木建築分野などは、リモートで複数の現場の対応が可能となれば、これまで技術者が不在で受注できなかった案件も引き受けることが可能となり、経済対策としても有効だと考えます。

▶ 議院運営委員会

2月18日、17道府県における「まん延防止等重点措置」の延長について政府から国会に報告があり、これを受けて所属する議院運営委員会にて質疑(発言)をしました。①延長するからにはこれまでの措置の効果の検証は？ ②3月6日までの延長の根拠は？ ③感染者数のピークアウトと病床逼迫のピークのタイムラグは検証しているのか？ という点を確認。山際大臣からは、飲食店におけるクラスター発生件数の減少や、発生から収束へのプロセスの知見などを踏まえて、データを見ながら臨機応変に対応する旨の答弁を得ました。エビデンスを蓄積しながら、最善の対応を政府と共に進めて参ります。



大きく変わる我が国の防衛環境

ロシアのウクライナ侵攻や米中対立の激化など、我が国を取り巻く安全保障環境は大きく変化しています。北朝鮮のミサイル開発もエスカレートし、台湾を巡る問題も我が国の防衛に直結した課題です。**力による一方的な現状変更**を迫ることは国際規範への挑戦でもあり世界的な課題です。

▶ 戦い方の変容

周辺国ではミサイルの開発や保有を進める中で、我が国としても当然、核抑止力だけでなく通常抑止力と対処力の確保・向上、すなわち**精密打撃能力を向上**させることが必要です。一方で、技術の進展により、ドローンなどの無人機の導入も進んでいて、無人と有人を組み合わせた戦い方が主流となりつつあります。特に、情報を利用して意思決定にまで影響を与える**認知戦**や、軍事と非軍事が融合した**ハイブリッド戦**を駆使して「戦わずして勝つ」時代、平時の情報発信が重要になります。



▶ 日本の防衛の三本柱

日本の戦略としては、次の三本柱が挙げられます。一つは**日米同盟**。米国と幅広く協力し抑止力・対処力を向上させます。二つ目は**安全保障協力**。自由で開かれたインド太平洋に象徴される多角的・多層的な安全保障協力を推進して参ります。そして最後が**我が国自身の防衛体制**です。主体的・自主的に防衛力を強化していくことは日本の防衛の根幹です。特に**陸海空**といった従来領域と**宇宙・サイバー・電磁波**といった新領域の全ての領域を横断的に連携させた新たな防衛力を構築する必要があります。



我が国自身の防衛体制

主体的・自主的に防衛力を強化
(日本の防衛の根幹)

日米同盟

幅広く協力し、抑止力・対処力を向上

安全保障協力

多角的・多層的な安全保障協力を推進



▶ 新たな装備体系の構築

ネットワーク化・情報化の時代、世界の軍隊は**智能化**へ急速に移行しています。我が国も先進的な民生技術を活用し、新たな装備体系を構築する必要があります。特に、「**無人化・省人化**」を進めつつ「**スタンド・オフ**（脅威圏外の離れた位置から対処を行える）**火力**」、「**宇宙・サイバー等新領域**」「**5G等情報化、次世代通信**」「**情報解析等の認知・AI**」などの早期装備化が必須となります。そのためにも**防衛産業**の役割の増大・強化が必要です。

自民党内での政策活動

今国会、私が党内で関わっている主な政策についてご報告致します。

▶ 女性の健康課題に対する政策

女性の活躍が政策の重要課題とされつつも、女性特有の健康課題に対する政策や法整備は未だ十分ではありません。自民党では「**女性の生涯の健康に関する小委員会**」を設置。私も役員として議論に参加して、女性の**更年期障害**への対策をテーマにした法整備を進めています。女性の健康に関する知見を集めつつ、女性の健康課題の理解の増進、相談支援体制の整備など多岐にわたる政策です。



▶ ソーシャルビジネス支援

私が事務局長を務める自民党の**社会的事業推進特別委員会**。官民協働に向けて民間のソーシャルビジネス（我が国が抱える多様な社会課題をビジネスベースで解決する事業）への効果的な支援策を検討しています。以前に法改正にも関わったNPOと共通する部分もありますが、主には営利が目的ではない株式会社、いわば公益的会社の、まちづくりや教育、観光、福祉、環境保護活動などへの支援です。ヒヤリングを重ねながら実効性のある政策提言を考えています。



▶ 労働者協同組合法（議員立法）

与党議員は議員立法ではなく閣法（内閣提出法案）を確実に仕上げるのが仕事という意見もありますが、閣法になじまない性格の法律もあります。今国会では、**労働者協同組合法の改正**の議員立法を成立させるために奔走しています。労働者協同組合とは、組合員が出資し組合員自らが事業に従事する組織です。もともとNPOなどから移行する事を想定していましたが、より厳しく非営利性を徹底する**特定労働者協同組合**という制度を設けて、税制の優遇措置が得られる改正を目指しています。

編集後記

無事に令和4年度予算が可決成立しました。国対副委員長を務める立場としては、最大の山場を終えて一安心です。一方で、ウクライナ情勢は緊迫が続き、原油価格の高騰など、世界経済への影響も少なくありません。政策的な課題

が山積する中、やるべき事を一つ一つ丁寧に取り組んでいます。またコロナ対策も引き続きの課題ですが経済の建て直しも急務。いろんな仕事を同時に進めなければなりません。こんな時代だからこそ政治の安定が大切だと改めて感じています。